

大道地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月10日（月） 午後6時～7時15分

【場所】 大道公民館 集会室

【出席者】 大道地域住民ほか 計20名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

市庁舎建設について市民アンケートを採ったときには現在の庁舎の位置が多数意見だったのではないかと思います。アンケートの結果をもう少し詳しく説明して欲しい。

◆質問者2

1月のシンポジウムに参加し、長岡や姫路、横手などの事例を聞いたが、駅の近くにもっていった方が車の免許がなくなってもバスに乗っていける。是非、駅のところをお願いしたい。若いときは市役所に行くことはあまりなかったが、年をとるとしょっちゅう市役所に行く。その当たりも考えて欲しい。

●庁舎建設室長

アンケートの場所に関して、市が行った平成27年9月のアンケートでは場所を尋ねる質問はなかった。自由回答の中には、場所について書いてあるものはあったものの、数値的なものは、そのときには出ていない。

●市長

防府市では過去に先人が500億くらい、まちなかに巨大な投資をしてきた。鉄道高架事業、南北区画整理など。これを活かすのは我々の責任。庁舎という巨額の投資をするなら将来の発展の可能性を模索できる場所が良いのではないか。検討委員会でもそのような判断となったが、決断は市民がされることになる。庁舎を別の場所に移す場合には議会の3分の2の同意が必要。現在あるところに建替えるにしても過半数は必要。アンケートの話が出たが、もしかしたらこれから、庁舎についてアンケートをする必要が出てくるのかなあと思ったりもしている。いずれにしても市民の皆さんのご意見をしっかりお聴きしたい。駅北ありきではない。駅北という判断に基づいて計画を立案し、お示ししている。今お示ししている2枚のペーパーも完全なものではない。用地も買い取らなければならないし、道路も付け替えなくてはいけないだろう。

◆質問者 1

位置についてのアンケートは取らなかったという答えだったが、私が耳にする範囲では無理に駅周辺にもっていく必要はないのではないかという意見が大変多い。高齢になると自家用車に乗れないという状況はあるかも知れないが、現有地も駅からそう遠くない。市役所の本庁舎にまで行って手続きすることは数年に一回あるかどうかで、防府市も各地に支所があって充実しており、支所で完結する手続きも多い。市庁舎は駅から離れた場所でも良いので、駅周辺、中心部はにぎわいが出る商業なり文化なり、そういうエリアにして欲しい。

●庁舎建設室長

位置については、なかなか甲乙つけがたい。現庁舎は実際にあるわけで、悪いわけではない。愛着あるところから離れようということなので、当然反対はあるだろう。役所が移っても商業の活性化にはならないという意見もあるが、遊休化した資産を活かしたいという考え。八王子一丁目の街区は昭和12年から耕地整理を行ったところで、道の幅も2間、3.6メートルと狭い。地価も高かった平成10年で192,000円だったものが平成29年の地価公示では39,700円、80パーセント下落している。市庁舎が出て行くことによって街区を蘇らせられないかと考えている。

◆質問者 1

駅北ありきではないと言われたが、駅北ありきではないか。ここまで検討が進んでいるとは思っていなかった。決まった内容を説明しているのではないかと思って、今日は見に来た。市役所には行政の手続きのために行くのであって、数年に一度。市庁舎が出ることによって活性化することはあり得ない。現有地の場合と駅北の場合と両方の案を並列して、市民にアンケートを採ったらどうか。

◆質問者 3

庁舎をまちづくりに活かすといってもそれは間違っていないと思う。全く活性化に繋がらないかというゼロではない。ただ、今の場所を失ってまでの効果なのかという比較の問題だと思う。県下に誇れる防災拠点を失うべきではない。

検討委員会の17名が決めたのがそれでいいのかという話もあるが、この人達には背負っている団体がそれぞれあるので、私はそうは思わない。それもひとつの判断材料。

3月27日の市議会の決議を尊重しなければ市民不在である。決議を重く受け止めて、両案を作って議会できちっと議論して欲しい。

●市長

検討委員会の方々の判断を尊重して、行政が判断をしていくことは当たり前の行政のルールであり、それに基づいて、まずはご説明をさせていただいている。決断を下すのは市民の皆さん。お一人お一人の意見をなかなかお聴きするわけにはいかないの、こ

うやって各地区を回らせてもらっている。この後は、商工会議所とか、女性団体の方とか、老人団体の方々とか、諸団体のご意見もお聴きしていきたいと思っている。そうした中から場所についてのアンケートというようなことも考えていかななくてはいけないときもあるかも知れない。まちづくりは永遠の課題であり、その時代を生きるものの努力が継続されて初めて課題が解決に向かっていく。防府市には防府市の分相応のまちづくりが求められる。また、今ある市有地、現在の庁舎がある土地は、全く売却するつもりはない。土地は売れば戻ってこない。大切な宝物だと思っている。市民の皆様のご決断をいただき、いずれどこかに建替えなければならない。合併していたら庁舎を建てる話などあり得なかった。いずれにしてもじっくり考えて答えを出していきたい。